



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月7日

上場会社名 株式会社ジャムコ 上場取引所 東
 コード番号 7408 URL <http://www.jamco.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大喜多 治年
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 大倉 敏治 (TEL) 042-503-9145
 執行役員
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	40,248	△5.4	△293	—	△1,759	—	△1,122	—
28年3月期第2四半期	42,554	23.7	3,908	24.6	3,981	10.7	2,690	6.0

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △1,680百万円(—%) 28年3月期第2四半期 2,664百万円(△5.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	△41.85	—
28年3月期第2四半期	100.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	85,935	25,395	28.8
28年3月期	92,284	28,202	29.7

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 24,711百万円 28年3月期 27,363百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
29年3月期	—	0.00			
29年3月期(予想)			—	10.00	10.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	83,400	△8.9	1,800	△79.5	500	△93.9	300	△94.2	11.18

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期2Q	26,863,974株	28年3月期	26,863,974株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	38,730株	28年3月期	38,635株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期2Q	26,825,286株	28年3月期2Q	26,825,423株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来情報に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.5「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間は、中国の経済成長が減速しアジア新興国等の景気回復が鈍化するなど先行きに不安を抱えながらも、米国の景気回復が続き、日本及びユーロ圏の景気も緩やかに回復するなど世界経済全体は概ね堅調に推移しましたが、英国のEU離脱問題や米国の金融政策正常化などにより為替相場が大きく変動するなど不確実性が高まっており、今後の世界経済への影響が懸念される状況となりました。

航空輸送業界では、世界的な航空需要の拡大と原油安がエアラインの収益改善に寄与しているものの、依然として競争の激化が続いています。大手航空機メーカーでは、大型機種の需要減少が懸念されていますが、航空機需要全体の増加に対応して主力小型旅客機の生産増強に向けた取組みを進める一方、ボーイング787型機やエアバスA350型機といった燃料効率の良い中型旅客機の新規生産も高水準を維持しており、生産を分担するサプライヤーである当社においても繁忙な状況が続いています。

こうしたなか当社グループでは、航空機内装品等製造関連においては、787関連内装品の生産数量増加に対応しつつ、生産効率改善に向けた取組みを進めると共に、コスト削減をはじめとした諸施策を推進しました。又、777型機の後継機としてボーイング社が開発を進めている777X型機向けのラバトリーの開発を進めました。しかしその一方で、エアラインから直接受注する現行の777向けギャレーの受注は、777Xへの移行の端境期を迎えて減少し、主力であるギャレーの売上高は前年同四半期に対して減少しました。

平成28年6月28日付で社内組織を再編して新たに独立した航空機シート等製造関連においては、原価低減を進めると共に、平成27年12月にシートの主要構成部品(バックシェル、コンソール等)の量産を開始した(株)宮崎ジャムコ第二工場の生産体制の確立及び生産効率の向上に取り組まれました。

航空機器等製造関連においては、炭素繊維構造部材の新規品目であるエアバスA350型機向け貨物室床下構造部材のコスト増加に対して改善を進めると共に、その他の製品についてもコスト削減を推進しました。

航空機整備等関連においては、飛行安全の確保と品質向上の取組みを継続すると共に、受注回復に努め生産性改善に向けた取組みを進めました。

一方、当第2四半期連結累計期間では、前年同四半期に対して為替相場が大幅に円高で推移したことにより、ドル建売上高の目減り、第3四半期以降の完成工事に対する工事損失引当金の増加、ドル建売上債権等に係る大幅な為替差損の発生など、円高による影響を大きく受けました。なお、当第2四半期連結会計期間末の工事損失引当金は、前連結会計年度末から 1,196百万円増加し、当第2四半期連結累計期間の減益要因となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の連結経営成績は、売上高 40,248百万円(前年同四半期比 2,306百万円減)、営業損失 293百万円(前年同四半期は営業利益 3,908百万円)、経常損失 1,759百万円(前年同四半期は経常利益 3,981百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失 1,122百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益 2,690百万円)となりました。

グループ全体の販売費及び一般管理費、営業外損益、特別損益の状況は次のとおりです。

販売費及び一般管理費は、試験研究費の減少等により 4,436百万円(前年同四半期比 152百万円減)となりました。

営業外損益は、急激な円高によって為替差損 1,298百万円を計上したことにより、1,465百万円の損(前年同四半期は、73百万円の益)となりました。

特別損益は、固定資産処分損、本社移転費用等により、24百万円の損(前年同四半期は、11百万円の損)となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

[航空機内装品等製造関連]及び[航空機シート等製造関連]

平成28年6月28日付の組織再編に伴い、航空機シート等製造関連セグメントを新たに設け、これまで航空機シート等製造関連を含んでいた航空機内装品等製造関連セグメントを2つに分離しました。

当事業では、787型機向け製品や航空機用シートの出荷は増加しましたが、既述のとおり777型機向けギャレーの売上高は減少しました。又、前年同四半期好調だったスペアパーツ販売も今期においては若干低調に推移しました。これらに加えて、為替相場が円高で推移したことによる影響を大きく受け、外貨建売上高の目減り、工事損失引当金の増加による売上原価の増加、大幅な営業外為替差損の発生などにより、前年同四半期に比べて売上高は減少し、経常損失となりました。

この結果、航空機内装品等製造関連に航空機シート等製造関連を含んだ、これまでの航空機内装品等製造関連セグメントの区分による業績は、売上高 33,889百万円(前年同四半期比 1,267百万円減)、経常損失 1,637百万円(前年同四半期は経常利益 3,652百万円)となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間における各セグメントの業績は、航空機内装品等製造関連は、売上高 28,241百万円、経常利益 461百万円、航空機シート等製造関連は、売上高 5,648百万円、経常損失 2,099百万円となりました。

[航空機器等製造関連]

当事業では、民間航空機用エンジン部品の受注が堅調で生産量も増加しましたが、エアバスA380型機向けの炭素繊維構造部材の生産量の減少、為替相場が円高に推移したことによる外貨建売上高の目減りなどにより売上高は減少しました。又、新規品目のA350型機向け炭素繊維構造部材の原価増加などにより、当事業全体では採算性が低下して経常損失となりました。

この結果、航空機器等製造関連は、売上高 3,245百万円(前年同四半期比 162百万円減)、経常損失 85百万円(前年同四半期は経常利益 247百万円)となりました。

[航空機整備等関連]

当事業では、完成工事が多く又特別作業の受注などで比較的好調に推移した前年同四半期に対し、今期においては完成工事が減少するなどにより売上高が減少しました。又、売上高の減少に伴い事業全体の採算性が低下して経常損失となりました。

この結果、航空機整備等関連は、売上高 3,112百万円(前年同四半期比 876百万円減)、経常損失 35百万円(前年同四半期は経常利益 79百万円)となりました。

[その他]

その他の区分には、連結子会社の(株)オレンジジャムコ及び(株)ジャムコテクニカルセンターの事業を含んでいます。なお、(株)ジャムコテクニカルセンターは、平成28年3月31日付で解散し平成28年8月22日付で同社の清算は終了しました。

この結果、その他の区分では、売上高 0百万円(前年同四半期比 0百万円増)、経常損失 1百万円(前年同四半期は経常利益 1百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

[資産・負債・純資産の状況]

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は 85,935 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 6,348 百万円減少しました。内、流動資産については、現金及び預金の減少(前期比 800 百万円減)、受取手形及び売掛金の減少(前期比 2,113 百万円減)、仕掛品の減少(前期比 1,662 百万円減)、原材料及び貯蔵品の減少(前期比 412 百万円減)等により流動資産合計で前連結会計年度末に比べ 6,287 百万円減少しました。又、固定資産については、費用削減のための設備投資の抑制、円高による海外資産の目減りや減価償却などにより、固定資産合計で前連結会計年度末に比べ 61 百万円の減少となりました。

負債合計は 60,540 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 3,541 百万円減少しました。主な要因は、工事損失引当金は増加(前期比 1,196 百万円増)したものの、支払手形及び買掛金の減少(前期比 1,994 百万円減)、未払法人税等の減少(前期比 1,389 百万円減)、長期借入金の減少(前期比 400 百万円減)等によるものです。

純資産合計は 25,395 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 2,806 百万円減少しました。主な要因は、利益剰余金の減少(前期比 2,195 百万円減)等によるものです。この結果、自己資本比率は 28.8%となりました。

[キャッシュ・フローの状況]

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物の増減は、以下に記載のキャッシュ・フローにより、前年同四半期に比べ 2,727 百万円減少しました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、496 百万円のキャッシュ・インフローとなり、前年同四半期に比べ 2,987 百万円収入が減少しました。これは、税金等調整前四半期純損失、前受金の減少等による収入の減少、仕入債務の減少等による支出の増加などによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、1,657 百万円のキャッシュ・アウトフローとなり、前年同四半期に比べ 141 百万円支出が減少しました。これは、費用削減のために不急な設備投資案件の実施を見合わせたことなどによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、155 百万円のキャッシュ・インフローとなりました。配当金の支払い、金融機関への借入金返済などの支出に比べて、金融機関か

らの借入金による収入が上回ったことによるものです。(前年同四半期は、141百万円のキャッシュ・アウトフロー)

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

直近に公開しました業績予想からの修正はありませんので、平成28年11月2日に発表した「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」の通期業績予想の修正の理由をご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,479,003	2,678,062
受取手形及び売掛金	20,232,940	18,118,967
商品及び製品	580,002	608,957
仕掛品	22,938,144	21,275,912
原材料及び貯蔵品	18,691,439	18,279,309
その他	6,714,549	5,387,212
貸倒引当金	△4,501	△3,939
流動資産合計	72,631,578	66,344,482
固定資産		
有形固定資産	14,496,373	14,362,857
無形固定資産	1,213,884	1,374,521
投資その他の資産	3,942,502	3,853,831
固定資産合計	19,652,760	19,591,210
資産合計	92,284,339	85,935,693
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,216,137	13,221,410
短期借入金	22,374,049	22,630,032
未払法人税等	1,598,026	208,345
賞与引当金	1,894,715	1,921,385
工事損失引当金	1,827,438	3,024,005
その他	8,832,547	7,418,339
流動負債合計	51,742,914	48,423,518
固定負債		
長期借入金	5,100,000	4,700,000
役員退職慰労引当金	154,939	142,673
執行役員退職慰労引当金	80,869	105,893
退職給付に係る負債	6,738,093	6,723,579
環境対策引当金	6,887	6,887
その他	258,316	437,631
固定負債合計	12,339,105	12,116,664
負債合計	64,082,020	60,540,183

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,359,893	5,359,893
資本剰余金	4,367,993	4,367,993
利益剰余金	17,684,729	15,489,030
自己株式	△30,452	△30,689
株主資本合計	27,382,163	25,186,228
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	87,484	68,839
為替換算調整勘定	214,971	△263,673
退職給付に係る調整累計額	△320,734	△279,865
その他の包括利益累計額合計	△18,278	△474,699
非支配株主持分	838,434	683,980
純資産合計	28,202,319	25,395,509
負債純資産合計	92,284,339	85,935,693

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	42,554,877	40,248,475
売上原価	34,057,770	36,106,178
売上総利益	8,497,107	4,142,296
販売費及び一般管理費	4,588,735	4,436,205
営業利益又は営業損失(△)	3,908,371	△293,908
営業外収益		
受取利息	616	3,080
受取配当金	2,858	3,237
為替差益	126,687	-
持分法による投資利益	12,321	13,573
保険配当金	2,959	5,915
助成金収入	63,932	57,946
その他	13,503	17,465
営業外収益合計	222,879	101,218
営業外費用		
支払利息	130,431	139,320
為替差損	-	1,298,538
その他	19,432	128,999
営業外費用合計	149,863	1,566,858
経常利益又は経常損失(△)	3,981,387	△1,759,549
特別利益		
固定資産売却益	445	139
特別利益合計	445	139
特別損失		
固定資産処分損	10,526	11,282
本社移転費用	-	13,320
その他	1,522	-
特別損失合計	12,049	24,603
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	3,969,783	△1,784,012
法人税、住民税及び事業税	1,246,508	117,079
法人税等調整額	△4,579	△768,247
法人税等合計	1,241,928	△651,167
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,727,854	△1,132,844
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支 配株主に帰属する四半期純損失(△)	37,000	△10,159
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会 社株主に帰属する四半期純損失(△)	2,690,853	△1,122,685

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,727,854	△1,132,844
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,490	△18,644
為替換算調整勘定	△69,534	△550,906
退職給付に係る調整額	16,969	40,869
持分法適用会社に対する持分相当額	△4,878	△18,750
その他の包括利益合計	△62,935	△547,432
四半期包括利益	2,664,918	△1,680,277
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,644,514	△1,579,107
非支配株主に係る四半期包括利益	20,404	△101,170

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	3,969,783	△1,784,012
減価償却費	1,168,250	1,165,027
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△137,369	58,773
引当金の増減額(△は減少)	986,888	1,223,089
受取利息及び受取配当金	△3,475	△6,317
支払利息	130,431	139,320
為替差損益(△は益)	1,055	△324,063
持分法による投資損益(△は益)	△12,321	△13,573
売上債権の増減額(△は増加)	1,883,116	1,356,950
たな卸資産の増減額(△は増加)	△6,470,117	955,281
仕入債務の増減額(△は減少)	930,068	△1,456,241
前受金の増減額(△は減少)	1,627,835	△796,210
未払又は未収消費税等の増減額	1,036,971	716,391
その他	530,549	748,946
小計	5,641,666	1,983,361
利息及び配当金の受取額	25,338	25,757
利息の支払額	△134,347	△138,829
その他の収入	76,834	71,731
その他の支出	△3,839	△17,616
法人税等の支払額	△2,121,703	△1,428,110
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,483,949	496,294
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,656,299	△1,055,044
有形固定資産の売却による収入	1,712	417
投資有価証券の取得による支出	△1,442	△1,394
貸付金の回収による収入	2,409	2,205
貸付けによる支出	△3,184	-
その他	△141,629	△603,269
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,798,434	△1,657,085
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	21,738,940	30,988,820
短期借入金の返済による支出	△20,919,730	△29,809,525
長期借入れによる収入	1,200,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△1,111,835	△92,128
リース債務の返済による支出	△102,935	△107,784
自己株式の取得による支出	-	△236
配当金の支払額	△936,727	△1,069,943
非支配株主への配当金の支払額	△9,258	△53,281
財務活動によるキャッシュ・フロー	△141,546	155,920
現金及び現金同等物に係る換算差額	△21,835	△200,550
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,522,133	△1,205,421
現金及び現金同等物の期首残高	3,050,112	3,479,003
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,572,245	2,273,582

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	航空機内装品 等製造関連	航空機器等 製造関連	航空機整備等 関連	計		
売上高						
外部顧客への売上高	35,157,056	3,408,623	3,989,172	42,554,852	24	42,554,877
セグメント間の内部売上高 又は振替高	92,239	38,452	145,869	276,561	66,793	343,355
計	35,249,296	3,447,076	4,135,041	42,831,414	66,818	42,898,232
セグメント利益	3,652,591	247,542	79,555	3,979,689	1,697	3,981,387

(注) 「その他」の区分には、関係会社の(株)オレンジジャムコ及び(株)ジャムコテクニカルセンターの事業を含んでおります。(株)オレンジジャムコは企業の社会的責任の一つである障がい者の雇用促進のための特例子会社であり、当社工場内の補助的作業を行っております。又、(株)ジャムコテクニカルセンターは新技術、新製品の研究開発を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	3,979,689
「その他」の区分の利益	1,697
四半期連結損益計算書の経常利益	3,981,387

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	航空機 内装品等 製造関連	航空機 シート等 製造関連	航空機器等 製造関連	航空機 整備等関連	計		
売上高							
外部顧客への売上高	28,241,014	5,648,830	3,245,681	3,112,897	40,248,423	52	40,248,475
セグメント間の内部 売上高又は振替高	327,175	—	1,153	29,252	357,580	45,206	402,786
計	28,568,189	5,648,830	3,246,834	3,142,149	40,606,004	45,258	40,651,262
セグメント利益 又は損失(△)	461,253	△2,099,132	△85,585	△35,026	△1,758,490	△1,058	△1,759,549

(注) 「その他」の区分には、関係会社の㈱オレンジジャムコ及び㈱ジャムコテクニカルセンターの事業を含んでおります。㈱オレンジジャムコは企業の社会的責任の一つである障がい者の雇用促進のための特例子会社であり、当社工場内の補助的作業を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△1,758,490
「その他」の区分の利益	△1,058
四半期連結損益計算書の経常損失(△)	△1,759,549

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの変更)

当社を取り巻く経営環境と当社の事業規模の変化等を踏まえ、今後も更なる増大が予測される民間航空機需要に対応できる体制を構築することなどを目的として、平成28年6月28日より、従来の社内カンパニー制を廃止し、1事業本部、4事業部に再編しております。従来、航空機内装品製造事業において行っていた客室の座席(シート)の開発・設計・製造の事業を独立させ、「航空機内装品製造事業部」、「航空機シート製造事業部」、「航空機器製造事業部」、「航空機整備事業部」の4つの事業部に再編し、この内、航空機整備事業部を除く3つの製造関連の事業部を一括りにした「航空機内装品・機器事業本部」を新設しております。これに伴い、当第2四半期連結会計期間より、「航空機内装品等製造関連」、「航空機器等製造関連」、「航空機整備等関連」としていた報告セグメントを、「航空機内装品等製造関連」、「航空機シート等製造関連」、「航空機器等製造関連」、「航空機整備等関連」へ変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報を、当第2四半期連結累計期間におけるセグメント区分に基づいて作成するために必要な情報を遡って入手することは困難なため、次のとおり、当第2四半期連結累計期間について、前連結会計年度の区分方法に基づき作成しております。

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	航空機内装品 等製造関連	航空機器等 製造関連	航空機整備等 関連	計		
売上高						
外部顧客への売上高	33,889,844	3,245,681	3,112,897	40,248,423	52	40,248,475
セグメント間の内部売上高 又は振替高	321	1,153	29,252	30,727	45,206	75,933
計	33,890,166	3,246,834	3,142,149	40,279,150	45,258	40,324,408
セグメント損失(△)	△1,637,879	△85,585	△35,026	△1,758,490	△1,058	△1,759,549

(注) 「その他」の区分には、関係会社の(株)オレンジジャムコ及び(株)ジャムコテクニカルセンターの事業を含んでおります。(株)オレンジジャムコは企業の社会的責任の一つである障がい者の雇用促進のための特例子会社であり、当社工場内の補助的作業を行っております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。